2020年３月期　第１四半期決算説明資料

2019年8月9日

ヒューマンホールディングス株式会社

（証券コード：2415）

1.連結業績　～エグゼクティブサマリー～

売上・利益ともに計画に対する進捗は概ね順調に推移

➢ 連結売上高	２１，２３１百万円	前年同期比	+1.5%
➢ 連結営業利益	５５０百万円	前年同期比	▲4.1%
➢ 親会社株主に帰属する四半期純利益	２０３百万円	前年同期比	▲45.8%

＜連結売上高＞
人材関連事業において、期中の大型連休で派遣スタッフの稼働日数が前期と比べ減少したことなどにより減収となったものの、教育事業と介護事業が好調に推移し増収。

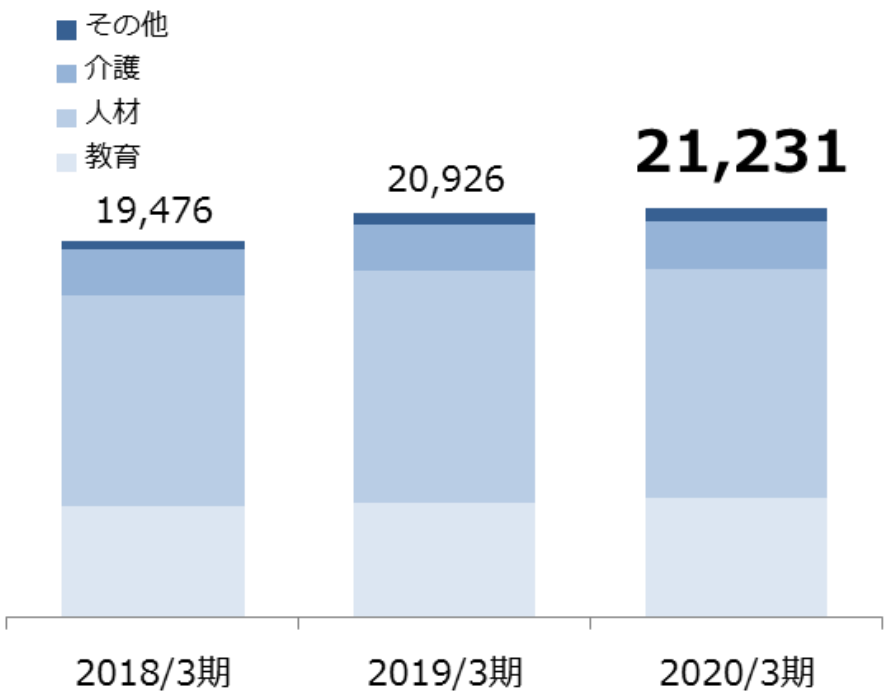
＜連結営業利益・四半期純利益＞
営業利益は、人材関連事業において、減収や人件費・システム関連費用などの増加により減益。四半期純利益は、教育事業において減損損失を計上したことなどにより減益。

2019年５月に公表した第２四半期計画に対する第１四半期の利益進捗率は、営業利益で81.1%、四半期純利益で66.1%と共に50%を超え、順調に推移。

2.売上高　～セグメント別増減要因～

連結売上高推移

（単位：百万円）



連結売上高　21,231百万円　前年同期比+1.5%

人材セグメント　（　11,829百万円　前年同期比▲1.2%）

大型連休により派遣スタッフの稼働日数が減少したことなどにより減収

教育セグメント　（　6,220百万円　前年同期比+4.1%）

全日制教育事業の在校生数が好調に推移

また、留学生向けの日本語学校を運営する国際人教育事業、児童向けのロボット教室を運営する児童教育事業も引き続き好調

介護セグメント　（　2,521百万円　前年同期比+3.9%）

地域密着型サービス「グループホーム」、「小規模多機能」の利用者が増加

前期開設した事業所の利用者も順調に推移

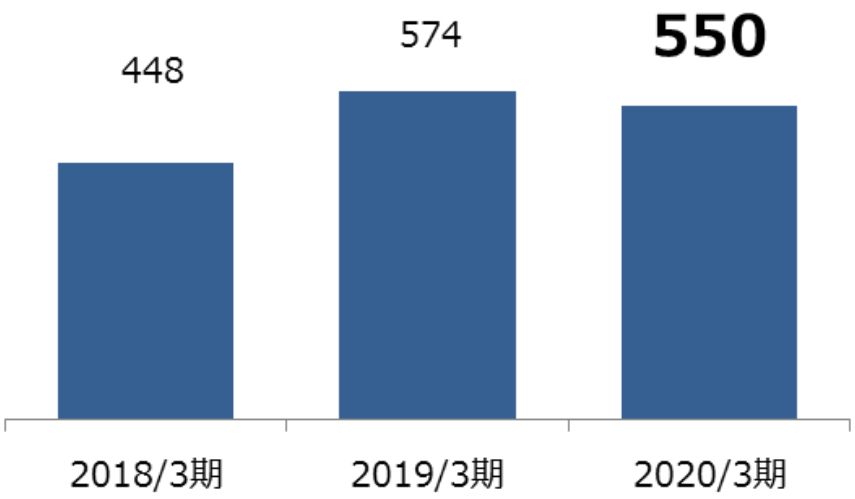
その他セグメント（　656百万円　前年同期比+18.2%）

主にIT事業で運営体制強化により受注が増加したため増収

3.営業利益　～セグメント別増減要因～

連結営業利益推移

（単位：百万円）



連結営業利益　550百万円　前年同期比▲4.1%

人材セグメント　（　62百万円　前年同期比▲77.5%）

減収に加え、人件費やシステム関連費用が増加したため減益

教育セグメント　（　347百万円　前年同期比　+76.9%）

増収に加え、広告宣伝費率など経費効率が改善し増益

介護セグメント　（　117百万円　前年同期比+364.2%）

増収に加え、適正人員配置による運営の効率化が進んだ
ことなどにより大幅増益

その他セグメント（　▲20百万円　前年同期比　+25百万円）

IT事業の管理体制強化により収益が改善し増益

本資料に記載されている、業績予想や将来予測等は、リスクや不確定要因を含みます。
実際の業績や結果は、様々な要因の変化により、記載の予想、計画、見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

本資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。
当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではございません。

【お問合せ先】
ヒューマンホールディングス株式会社　経営企画室
TEL　：03-6846-8002
E-mail：sougoukikaku@athuman.com

Human